



こんにちは 加藤ひろし です

第39号

私の活動地域
晴海・勝どき・豊海町
築地・浜離宮庭園

<らしゃ区政のご相談
お気軽にお電話ください
3551-6820 (事務所)
3533-0583 (自宅)

日本共産党中央区議会議員 私のブログもご覧ください『こんにちは加藤ひろしです』で検索!

暮らし・食料・農業・地域経済を守るために

TPP(環太平洋連携協定) 交渉参加を断念させよう

安倍首相が、3月15日「TPP交渉参加」を表明したことを受け、日本共産党中央区議会議員団は、2013年中央区議会第1回定例会に、安倍首相、衆参両院議長等に提出する「TPP参加断念を求める意見書」を提案しました。しかし、他会派の同意が得られず、区議会として意見書の採択にはいたりませんでした。

守るべきものが、守れないTPP

「TPP交渉参加」は、関税を原則撤廃し、農産物の輸入を完全に自由化するもので、農林漁業と国民の食料に大打撃となります。さらに「非関税障壁」撤廃の名の下に、食の安全、医療、金融、保険、官公需、公共事業の発注、労働など、国民生活のあらゆる分野での「規制緩和」を狙うものです。

TPPに参加することになれば、国内の農林漁業は壊滅し、食糧自給率が10%台に落ち込み、国土や環境、地域経済の荒廃を招き、国民の生存基盤が根本から失われてしまいます。弱肉強食の「アメリカ型ルール」が押しつけられ、国民にとって「百害あって一利なし」です。

国民皆保険制度が崩れ、医療の崩壊がすすむ

医療の崩壊がすすむ

日本医師会は、TPP参加への懸念として「混合診療の全面解禁で、保険のきかない医療が拡大し、所得によって受けられる医療が制限される。また株式会社病院経営への参入によるもうけ本位の医療、不採算部門の切り捨て、地域からの撤退」をあげています。財界などは「経済成長」のためと言ってTPP参加を歓迎しています。しかし恩恵を受けるのは「自動車・電機などの一部の輸出大企業」だけで、農業と食料、地域経済と雇用、国民生活は犠牲だけが強いられることとなります。

「交渉文書」4年間は公開されず

TPP交渉の特徴の一つは「徹底した秘密主義」です。交渉文書や各国の提案などはTPP発行後も4年間は公開されません。交渉に参加していない日本は、交渉の中身が全くわかりません。交渉に参加したら、すでに合意された内容をそのまま受け入れなければなりません。異議を唱えることもできません。

TPP交渉参加を止め、食料主権・経済主権を尊重した

「互恵平等」の経済関係の発展を

安倍自公政権のTPP交渉参加表明後も、TPP参加反対の世論は大きく広がってきています。食料主権・経済の主権をまもるために、共に力を合わせて「TPP交渉参加断念」の声を大きく広げましょう。

私たち区議団は、区民生活、医療、地域経済を守るために、全力をあげて頑張ります。



4月20日、32回目の「築地市場移転反対、現在地での再整備を求める」署名宣伝行動。TPP参加を止め、食の安全を守れと呼びかける。中央が私「加藤ひろし」です。

築地市場移転反対・現在地で再整備を

日本共産党中央区議団ニュース

2013年4月下旬号 中央区築地1-1-1
電話3546-5563, FAX3546-9570